

屋外スポーツ施設がオープンします

オープン日は、天候などにより変更する場合があります。詳細は、各施設のホームページをご覧ください。お得な回数券や祝津・高砂テニスコートはシーズン券もあります。

4/1(月)オープン

- 祝津テニスコート(4面)
- 高砂テニスコート(9面)

区分	一般	65歳以上	高校生	中学生以下
1時間	150円	100円	80円	無料

《詳細》体育協会 ☎44-7521

☎ <http://murotaikyo.sakura.ne.jp/taikyo/shisetsu/tennis.html>

- 入江運動公園陸上競技場

ランニングやウォーキングに利用できます。

区分	一般	65歳以上	高校生	中学生以下
1回	200円	130円	100円	無料

《詳細》入江運動公園陸上競技場 ☎24-3443

☎ <http://murotaikyo.sakura.ne.jp/irierikujo/rikujo-index.html>

4/21(日)オープン

- 白鳥大橋パークゴルフ場

クラブ・ボール・靴は、有料で貸し出しをしています。

《詳細》白鳥大橋パークゴルフ場

☎27-5266(オープン前は体育協会 ☎44-7521) ☎ http://murotaikyo.sakura.ne.jp/swan_pg/index.html

- だんパラ公園(室蘭岳山麓総合公園)テニスコート(4面)

区分	一般	65歳以上	高校生	中学生以下
1時間	150円	100円	80円	無料

《詳細》サンパワー380 ☎44-6055 ☎ <http://www.muroran-resort.sakura.ne.jp/mysite2/index.html>

区分	一般	65歳以上	高校生	中学生以下
1日券	600円	400円	300円	無料

グラウンドゴルフ、パークゴルフ(9ホール)

用具(クラブ・ボール)は、無料で貸し出しをしています。

区分	一般	65歳以上	高校生	中学生以下
1日	300円	200円	150円	無料

5/1(水)オープン

- 祝津公園グラウンド・中島公園野球場・少年野球場(神代町)

《詳細》体育協会 ☎44-7521

☎ <http://murotaikyo.sakura.ne.jp/taikyo/index.html>

- 入江運動公園多目的運動広場・芝生広場

《詳細》入江運動公園陸上競技場 ☎24-3443

☎ <http://murotaikyo.sakura.ne.jp/irierikujo/rikujo-index.html>

新入学(園)期の交通安全期間 4/5(金)~4/12(金)

春の行楽期の交通安全運動 4/17(水)~4/26(金)

大切な命を守る交通安全

《詳細》地域生活課 ☎25-2380

新年度になり、初めて子どもたちだけで登下校し、下校後は一人で遊びに出掛ける新入学児童や自転車に乗る人が増える時期です。各学校で、交通安全教室を実施していますが、家庭内での指導も欠かせません。みんなで交通事故の無いまちを作しましょう。



小学1年生の事故の特徴

- 登下校中の事故が最も多い
- 事故の半数近くは交差点で起きている
- 飛び出し事故の割合が高い
- 4月よりも、登下校に慣れてきた5月から11月頃までの事故が多い

対策

- 安全な道路の横断方法を繰り返し指導しましょう。特に、「一緒に信号を利用して、「青信号でも、渡る前に必ず右と左の安全を確かめる」「横断中も、周りの車に注意する」ことを教えてください。
- 通学路が決められている場合は、子どもと一緒に通学路を歩いて、危険な場所をチェックし、安全な通行の仕方を教えましょう。また、決められた通学路がない場合は、保護者が学校までを歩いて、安全な道順を決めてから、そのルートで登下校するように指導してください。
- 登下校に慣れてきても継続して指導することが大切です。

守ろう! 自転車安全利用五則

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
※13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者、身体の不自由な人は、自転車を運転するときに歩道を走行することができます。
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4. 安全ルールを守る
 - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
5. 子どもはヘルメットを着用

自転車保険に入っていますか?

自転車は、車やバイクと同じ“車両”の仲間です。自転車を運転中に交通事故を起こし、歩行者に危害を加えるなどした場合、さまざまな責任が問われることとなります。

実際に、小学生が運転していた自転車と歩行者が衝突した事故で1億円近い高額賠償を命じる判決もありました。子どもが起こしたからといっても賠償は免れません。親が責任を負うこともあります。

万が一の事故に備え、自転車損害賠償保険などに加入しましょう。詳細は、自転車販売店や保険会社などにお問い合わせください。